

この喜びをあすの繁栄に

市制施行30周年記念式典行われる

大館市が誕生してから、今年で満三十年になりました。この記念すべき年を迎えた市では、十一月三日の文化の日に市民体育館で、各界から千六百人を招き、簡潔にして厳粛な式典を行いました。

市制を施行してから三十年。この間四度にわたる大火や水害など幾多の苦難の道を歩み続けてきました。しかし、この式典を契機にわが大館市は、新たな飛躍と繁栄に向って限りなく発展し続けようとしています。



▲式典には1,600人が参列、決意を新たに発展を誓う



▲芸術文化連盟による祝賀公演が行われ、式典を盛りあげました



◀苗木のプレゼントには長い列



◀野外ステージはパント演奏でオープン

市民が一体となって落ち着いた潤いのある郷土をつくるために努力したい」と式辞を述べました。

続いて、石川芳男前市長の功績のあった四十二人の方々に、畠山市長から表彰状と記念品が贈られました。その後来賓の祝辞や「三十周年にあたっての想い出」と題した発表などがあり、

市民が一体となって落ち着いた潤いのある郷土をつくるために努力したい」と式辞を述べました。

続いて、石川芳男前市長の功績のあった四十二人の方々に、畠山市長から表彰状と記念品が贈られました。その後来賓の祝辞や「三十周年にあたっての想い出」と題した発表などがあり、

野外ステージが完成

式典を終りました。その後、市芸術文化連盟による祝賀公演が行われ、郷土芸能や箏曲・マンドリン・コーラス合同演奏、そして教育功労者の表彰を受けた竹沢寿英氏によるバレエなどが披露され式典に花を添えました。

今後は「活力に満ちた地方中核都市大館」を、市民の皆さんとともに建設していきたいものです。

のミニコンサートが開かれました。

野外ステージは、音楽愛好者などから「屋外で発表できる場がほしい」という要望もあって桂城公園西側に総工費九百八十万円で建設したものです。建物は鉄筋コンクリート造り平家建てで、ステージは、幅八、奥行六、高さ四メートルとなり、ステージ両側には控室が設けられています。

今後は、音楽愛好者などのミニコンサートの場として、おいに利用されることが期待されます。

大館のいま—むかし

医師数

昭26年	554人に	1人
昭56年	763人に	1人

婚姻

昭25年	1日に	1.3組
昭55年	〃	3.5組

世帯人員

昭25年	1世帯に	5.3人
昭55年	〃	3.4人

出生

昭25年	1日に	3.6人
昭55年	〃	4.0人

電話

昭26年	8.6世帯に	1台
昭55年	1.1世帯に	1台

ラジオ・テレビ

昭26年	1.9世帯に	1台
昭55年	1.1世帯に	1台

○昭和28年ごろの大館駅

米生産量

昭27年	4,499 t
(未合併町村分を合算)	
昭54年	21,179 t

○昭和26年ごろの大町付近

乗用車

昭26年	84世帯に	1台
昭56年	1.5世帯に	1台

消防ポンプ

昭26年	830世帯に	1台
昭56年	216世帯に	1台

○昭和初期の二丁目付近